

第 29 回技術研究発表会 梗概 < I 論文 >

【発表No. B05】

論文No.	B05
タイトル	東京都市計画道路幹線街路環状第2号線（新橋・虎ノ門間）整備事業
所属・名前	東京都 鶴沼 亮
キーワード	① 地域交通の円滑化 ② 立体道路 ③ 土地の有効・高度利用
<p>環状第2号線は、江東区有明を起点とし、中央区、港区などを経て千代田区神田佐久間町を終点とする全長約14kmの都市計画道路であり、臨海部と都心部との連携を強化し、地域交通の円滑化や避難経路の多重化による防災性の向上を図る上で重要な骨格幹線道路である。環状第2号線において、平成26年3月に開通した第一京浜から外堀通りまでの延長約1.4kmのうち約0.9kmの区間について、地下トンネルを街路事業で整備したものである。この地下トンネルの一部では、道路区域を立体的に定める立体道路制度を適用し、再開発ビルとの一体的な整備を行った。本論文では地下トンネル工事の概要とその整備効果について紹介する。</p>	